令和5年度所有者不明土地利用円滑化等推進法人の指定円滑化、普及・定着等に向けたモデル調査

市街地中心にある荒地(低未利用地)の有効活用 コミュニティー活動促進型「自主運営家庭菜園」

(富山県小矢部市 上野の杜花の会)

国十交诵省

対象地域

富山県

小矢部市内

の十地

対象地域の特性

あいの風とやま鉄道の石動駅から徒歩5分程度に位置する郊外住宅地で、2つの町内会を有している。

地域が抱えている課題

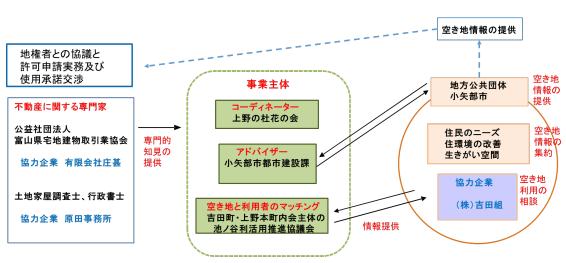
地下水により地盤が軟弱で、傾斜地にある上に、接道不良のために活用が困難な宅地が空き地や耕作放棄地となり、住環境を悪化させている。

主な取組内容

- ●対象地の土地所有者調査、町内会役員に対する説明会や地域住民の意向調査等を実施した。
- ●利活用に向けて、草刈りと測量を行った。また、多目的広場として利用するために、農業委員会と調整し、農地転用許可の手続きを実施した。
- ●家庭菜園の整備に向け、地盤改良工事、家庭菜園計画の検討、計画図の作成等を行った。
- ●NPO法人設立に向けた勉強会を開催した。

事業内容・スキーム

- ○耕作放棄地となっている休耕田 (一部未相続、住所不明)を有 効利用することで、コミュニティーの生 きがい活動を促進し、住環境の向 上を図る。
- ○事業地は地権者と事業主体となる 団体との間で、5~10年間の使用 貸借(無償)を想定する。
- ○事業主体となる団体は、遊休地の 有効活用として多目的広場(一 部月極駐車場)を運営し、年間 維持費及び活動費の財源とする。
- ○事業地を家庭菜園として利用する 希望者は、会員登録と年会費を納 入し、年間維持費及び活動費の財 源とする。





対象地の位置



造成工事の様子

モデル調 査による 取組成果

地域の住環境を改善するための家庭菜園の実施に向 けた合意形成

町内会長から住民の意向を聞き取りした結果、住環境の改善を望む住民が多いことが判明した。また、隣接する町内会への説明では、土地所有者の責任を指摘する意見もあったが、主体的に関わり、コミュニティーの住環境を良くする取組であること、楽しい地域にすること等を提案し、合意形成が促進された。

多目的広場として利用するため農地転用許可 手続きを実施

農地転用許可申請に向け、隣接地が未相続の場合の取り扱い、任意団体の場合の資格要件等について検討。農業委員会の指導により、隣接地が耕作されていない場合は同意不要であり任意団体でも規約と会員名簿があれば可ということで、申請承認の見込みが立った。

地域の現状やニーズを踏まえた家庭菜園及び駐車場の計画、基盤整備が完了

対象地に関して、車両侵入口の設置、地盤改良、再生砕石の敷き込み、転圧等の工事を実施し、家庭菜園の実施に向けた基盤を整備することができた。

今後、駐車場や家庭菜園の利用募集を開始し、 利用料等を財源とし、家庭菜園を運用していく。